

| | | | | | |
|------------------------------|---|------|---|-------------------------|-------|
| 開講期 | 2026年度前期 | | | 単位数 | 2.0単位 |
| 科目[授業]名 | 7475 公務員講座(行政学基礎) | | | 開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ) | 週間授業 |
| 種別 | なし | | | 定員 | |
| 履修可能学年 | 全学年履修可 | 重複履修 | × | 全学開講 | ○ |
| 曜日時限 | 火曜5限 | | | | |
| 教室 | J201教室 | | | | |
| 代表教員 | 半谷 俊彦 | | | | |
| 担当教員 | 半谷 俊彦 | | | | |
| テーマと到達目標 | 公務員採用試験準備のスタートアップとして、公務員として必須とされる行政学分野における基礎的知識を習得するとともに、公務員の役割、仕事、職業としての特徴、働き方などを理解する。 | | | | |
| 概要 | 基本的にグループ・ワークやグループ・ディスカッションを通じて学びを進める。毎回の授業終了後、数日以内に400字程度のレポートの提出を求める。 期末試験期間中に小論文テストを実施する（事前に示したテーマについて、試験会場で800字程度の小論文を書いて提出する）。 | | | | |
| 対面科目/オンライン科目 | 対面科目 | | | | |
| 授業計画 | | | | 担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載） | 授業方式 |
| 第1回 | この授業の目的と進め方について／公務員採用試験について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第2回 | 都道府県は必要か・・・国、都道府県、市町村の役割について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第3回 | 大きな政府は必要か・・・国の役割について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第4回 | 参議院は必要か・・・日本の国会制度について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第5回 | 首相公選制を導入すべきか・・・議院内閣制と二元代表制について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第6回 | 地方税は必要か・・・国と地方の財政関係について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第7回 | たばこ税は必要か・・・租税の根拠と公平性について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第8回 | ゴミ収集は有料化すべきか・・・公共サービスの公益性について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第9回 | 図書館は民営化すべきか・・・指定管理者制度について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第10回 | 限界集落での公共サービスを停止すべきか・・・過疎と国土維持について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第11回 | 農産物輸入を完全自由化すべきか・・・経済効率と食料安全保障について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第12回 | 生活保護は必要か・・・社会扶助と社会保険の関係について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第13回 | 児童手当に所得制限は必要か・・・少子化対策と所得再分配について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第14回 | 原子力発電は全廃すべきか・・・エネルギー政策について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 第15回 | 15 公営ギャンブルは全廃すべきか・・・公営競技の役割とあり方について | | | 半谷俊彦 | 対面授業 |
| 成績評価の基準 | 毎週授業後に提出するレポートと期末試験期間中に実施する小論文テストで評価する。 小論文テストでは、事前に示したテーマについて、試験会場で800字程度の小論文を書いて提出する。 点数配分は次の通り。毎週のレポート：60点、期末試験期間中の小論文テスト：40点。 | | | | |
| 履修にあたっての留意事項 | グループ・ワークやグループ・ディスカッションによって授業を進めるので、積極的に取り組むこと。 授業中に Google Drive や Google Form を使用するので、ノートPC、タブレット、スマートフォンなどのデジタルデバイスを持参すること。 | | | | |
| オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細 | | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件 | |
|---------------------|--|

◆教科書・教材

| | | | |
|---------------|----|------------|--|
| 教科書以外に必要な教材費用 | なし | | |
| 教科書 | なし | 教科書(ISBN) | |
| 参考文献 | なし | 参考文献(ISBN) | |

◆合理的配慮

| | |
|--------------------|--|
| 本学における修学支援基本方針について | 本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること |
|--------------------|--|